

関東教育学会第74回大会準備委員会

関東教育学会

The Kanto Educational Research Society

第74回大会プログラム

2026年11月21日(土)

専修大学神田校舎

大会スケジュール

9:30	10:00-12:00	12:00-13:00	13:10-14:00	14:10-17:00	17:10-19:00
受付	自由研究発表	理事会	総会	シンポジウム	情報交換会
1号館 2階	1号館 2階	1号館 2階	1-3号館 3階	1-3号館 3階	1号館 15階
203 教室前	第1会場 201 教室 第2会場 202 教室 第3会場 204 教室	205 教室	303 教室	303 教室	報恩の間
		お弁当のお渡し 2階受付 (事前注文の会員のみ)			
会員休憩室 1号館 1階 101 教室					
協賛出版社販売スペース 2階中央階段前					

大会参加要項

会期	2026 年 11 月 21 日(土)
会場	専修大学神田校舎 1～3 号館 1 階、2 階、3 階各教室、15 階ホール 〒101-8425 東京都千代田区神田神保町 3-8
開場	9:30 受付開始
大会参加費	正会員 3,500 円 学生会員 1,000 円 臨時会員 3,500 円 ※恐れ入りますが、当日受付にて現金でのお支払いをお願いいたします。 ※本学会正会員・学生会員以外の方が公開シンポジウムのみに参加する 場合には、参加費は無料となります。
研究発表	個人発表 発表 20 分 質疑応答5分 共同発表 発表 30 分 質疑応答5分 ※全員の発表終了後に全体討論を行います。
昼食	大会当日の学内食堂の営業はありません。 ※事前参加申込フォームからお弁当の注文を受け付けています。 <u>(2026 年 10 月 31 日まで)</u>
情報交換会	1 号館 15 階 報恩の間において情報交換会を開催します。 会員の皆様との親交を深めたく、是非ともご参加いただけますと幸いです。 会員 5,000 円 学生会員 3,000 円 ※恐れ入りますが、当日受付にて現金でのお支払いをお願いいたします。 ※事前参加申込フォームから情報交換会への参加を受け付けています。 <u>(2026 年 10 月 31 日まで)</u>
Wi-Fi 接続	接続の有無、または接続方法については、当日ご案内します。
大会準備委員会	専修大学神田校舎 1 号館 森田司郎研究室気付 住所 〒101-8425 東京都千代田区神田神保町 3-8 E-mail: kantoedu74@gmail.com(大会専用) 関東教育学会 HP http://www.kers.jp/index.html

交通のご案内

専修大学神田校舎への電車でのアクセス

- ・水道橋駅(JR)西口より徒歩7分
- ・九段下駅(地下鉄／東西線、都営新宿線、半蔵門線)出口5より徒歩1分
- ・神保町駅(地下鉄／都営三田線、都営新宿線、半蔵門線)出口 A2より徒歩3分

神田キャンパス

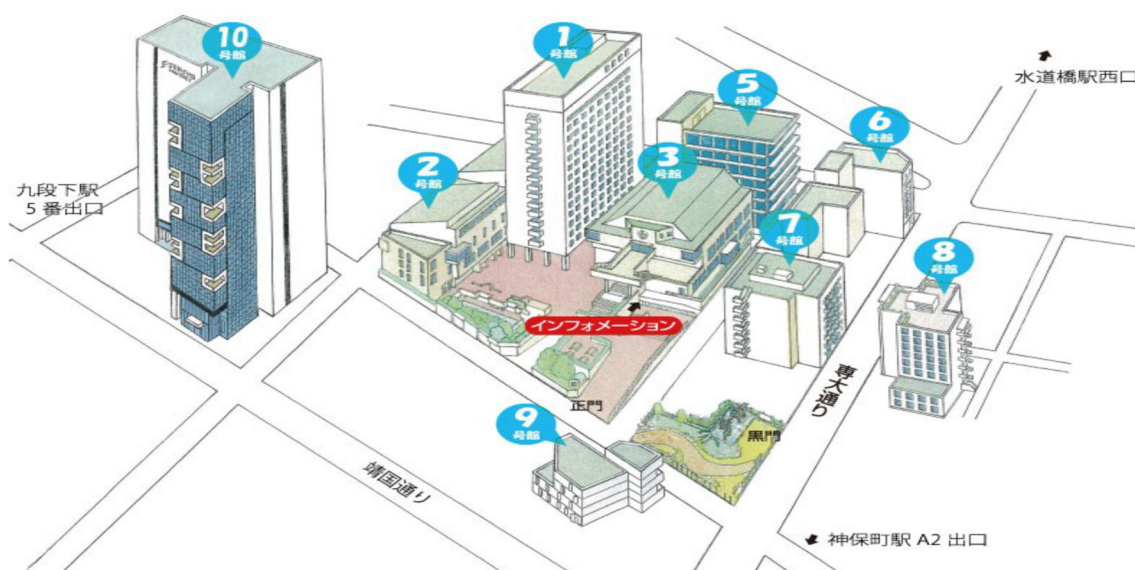
■JR線
水道橋駅
西口より徒歩7分

■東京メトロ東西線、半蔵門線、
都営地下鉄新宿線
九段下駅
「5」出口より徒歩1分

■東京メトロ半蔵門線、
都営地下鉄新宿線、三田線
神保町駅
「A2」出口より徒歩3分

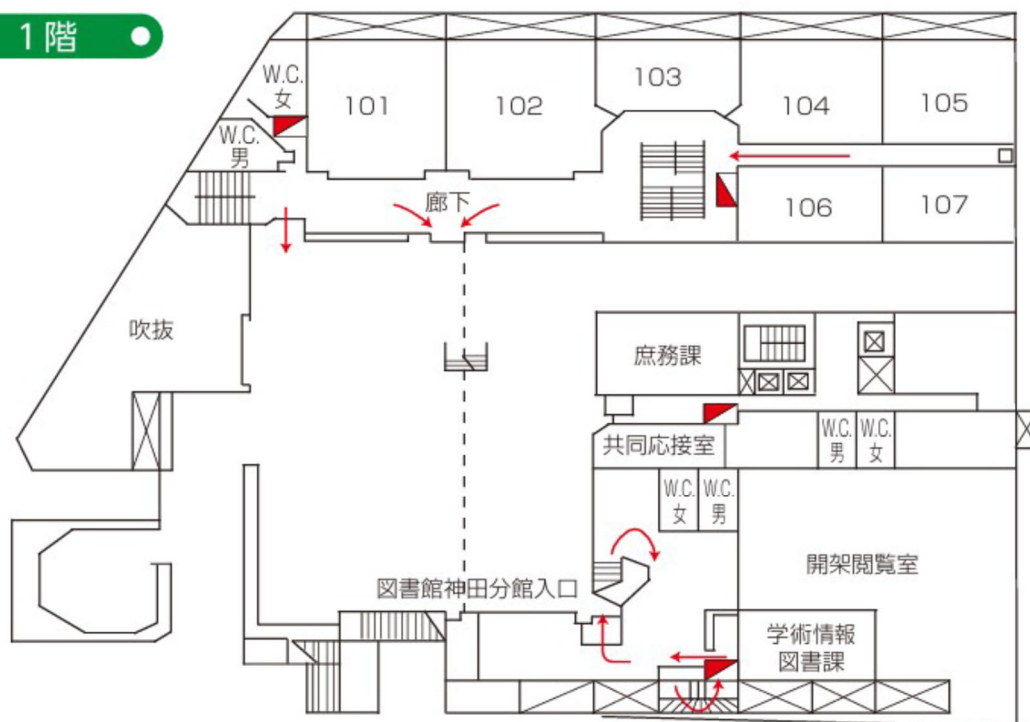


会場案内(専修大学神田校舎)



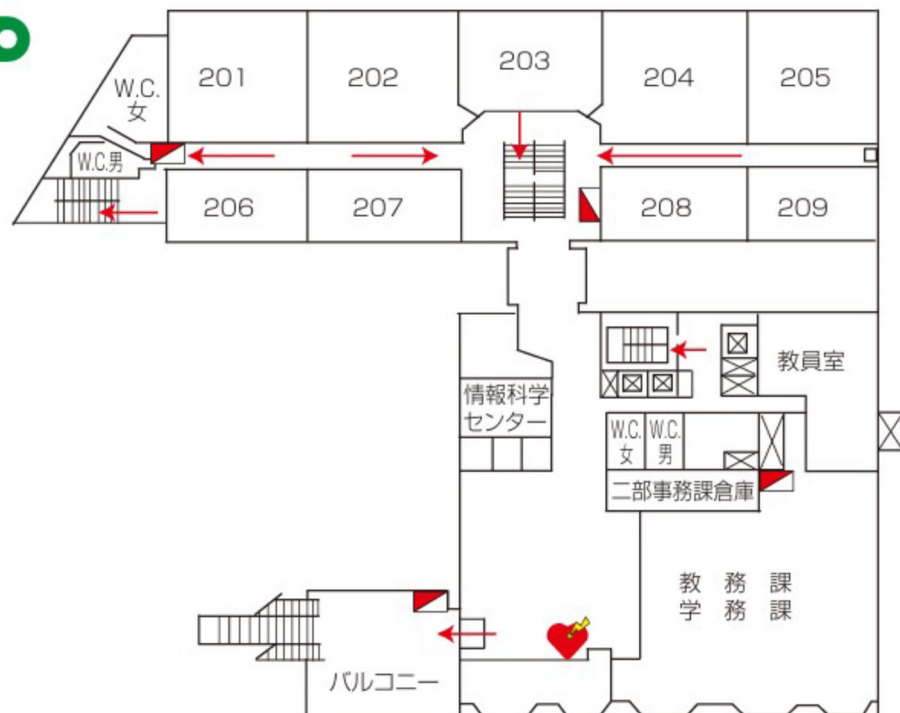
神田校舎 1～3 号館 1 階（会員休憩室:101 教室）

1 階



神田校舎 1～3 号館 2 階(受付:203 教室前、自由研究発表(第 1 会場:201 教室、第 2 会場:202 教室、第 3 会場:204 教室)、理事会:205 教室、販売スペース)

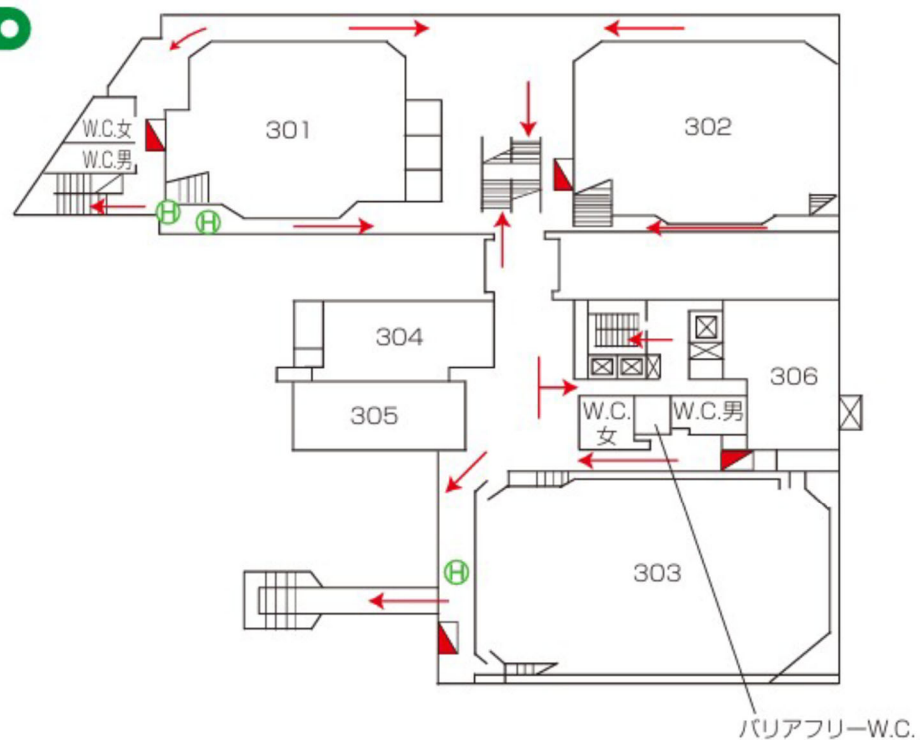
● 2階 ●



神田校舎 1～3 号館 3 階(総会・公開シンポジウム:303 教室)

* 当日は大学の講座で 301 教室と 302 教室を使用しています。ご配慮いただきますよう、よろしくお願いいたします。

● 3 階 ●



自由研究発表（10:00—12:00）

第1会場		2 階 201 教室
司会 牛田 伸一(創価大学) 細戸 一佳(山梨県立大学非常勤講師)		
(1) 10:00	「ノーチャイム制」公立小学校における時間意識の指導 —— 教員への質問紙調査をもとに 張 舒貽(ちょう じょい、早稲田大学大学院)	
(2) 10:25	定時制高校における「個別最適な学び」に係る現状と課題の検討 遠藤 秀聖(えんどう しゅうせい、早稲田大学大学院)	
(3) 10:50	学級経営における〈理解的対等関係〉のあり方 —— 一斉指導と個別最適化の両立は可能なのかという問いを切り口として 新妻 千紘(にいづま ちひろ、東京家政大学)	
(4) 11:15	「自己決定」を鍵概念とした歴史総合の教材開発とその実践 —— オーストラリアのカウラ事件を題材にして 杉山比呂之(すぎやまひろゆき、専修大学附属高等学校／筑波大学大学院)	
11:40～12:00 全体討論		

第2会場		2 階 202 教室
司会 野口 穂高(早稲田大学) 久保田 英助(関東学院大学)		
(1) 10:00	教育機会の平等を超えて —— オノラ・オニールの責務論に基づく教育格差是正政策の再構成 高宮 正貴(たかみや まさき、武蔵野大学)	
(2) 10:25	3000 冊読め —— 河合榮治郎らによる『教養文献解説』(戦中版・戦後版)の基礎的検討 松井 健人(まつい けんと、東洋大学)	
(3) 10:50	寺山修司『アメリカ地獄めぐり』の射程 —— 教育思想に関する考察として 上坂 保仁(うえさか やすひと、明星大学)	
(4) 11:15	早稲田大学における大学紛争 —— 学生団体の動向を中心に 田中 智子(たなか さとこ、法政大学)	
11:40～12:00 全体討論		

司会 下田 好行(前東洋大学) 平岡 秀美(玉川大学)

- (1) 10:00 私立小学校男性教員によるジェンダー実践を取り巻く葛藤
—— 「バウンダリーの尊重」を教える教員の語りと教室観察から
山川 葵(やまかわ あおい、早稲田大学大学院)
- (2) 10:25 中学校における組織的キャリア教育に関する教員の認識
—— 年齢及び教職経験年数との関連に着目して
竹本 弥生(たけもと やよい、横浜薬科大学)
- (3) 10:50 1980 年代の解放教育における教師の教育観
—— 子ども観、学級観、家族観に着目して
佐藤 雄哉(さとう ゆうや、東京大学大学院教育学研究科・越谷保育専門学校)
- (4) 11:15 千葉県における関東大震災時の朝鮮人虐殺に関する教育実践の展開
—— 2000 年以降の特徴に注目して
松本 光(まつもと ひかる、学習院大学大学院)

11:40～12:00 全体討論

テーマ 学校外の学びの役割とその実態に迫る

—— 学校教育への示唆 ——

現在、小中学校の不登校児童生徒数が 35 万人を超えている。この対策として、平成 28 年公布の「教育機会確保法」をはじめ、学びの多様化学校(いわゆる不登校特例校)などの取り組みも行われている。多様化する子どもたちに対して十分な居場所や学びの選択肢を提供するためには、このような公的な支援と同様に、学校外のフリースクールや民間団体等が提供している多様な学びが重要であることが理解されてきている。

本シンポジウムでは、学校外で行われている多種多様な学びの役割とその実態を知ることが学校教育に対しても有益な示唆をもたらすのではないかと考え、この企画を提案した。登壇者は、小野明日美氏(筑波大学、日本教育学会会員)、森田太郎氏(一般社団法人カリブの学港)、塩見直子氏(一般社団法人サドベリースクールつくば空)の 3 名である。小野氏には、米国の公立オルタナティブ・スクール研究の視点から日本のオルタナティブな教育の状況について、森田氏には、これまでの興味深い教育活動歴および、静岡県下田市の海で子どもたちの知的好奇心を育てる目的で行っている自然体験学習の実践について、塩見氏にはフリースクールにおける子どもたちの学びの実態について、それぞれ紹介してもらう。さらに、参加者と 3 名の講師を交え、「学校教育への示唆」そして「学校教育と学校外教育の連携の可能性」を探るためのワークショップを行い、登壇者と参加者とが積極的に意見交換をして対話を深める場を提供したい。

【シンポジストからのメッセージ】(敬称略)

小野明日美(筑波大学、日本教育学会会員)

アメリカの公立オルタナティブ・スクールが、なぜ・どのように形づくられたのか、歴史研究をしています。アメリカには、フリースクールの理念や実践を積極的に公立学校に取り入れ、すべての子どもたちのための新しい学校のあり方を模索してきた歴史があります。元々は、日本の「不登校」の子どもたちの学びの場が限られているとの問題意識から、この研究を始めました。最近では、学びの多様化学校の教育実践にも関心をもっています。

森田太郎(一般社団法人カリブの学港)

2008 年より東京都公立小学校教員として三鷹市、小笠原諸島・母島、品川区の小学校に勤務。
2019 年から、当時黎明期にあった株式会社探究学舎の教育事業に参画し、子どもたちの知的好奇心を起点とする探究型の学習体験の設計と学習プログラムの開発に取り組む。現在は、一般社団法人カリブの学港の「舟長」として、静岡県下田市をはじめとする伊豆半島の海や自然を舞台に、子どもたちの知的好奇心を起点とした自然体験・探究型の学びを企画・実践している。学校教育と学校外教育の双方での実践経験を生かし、学校外だからこそ生み出せる学びと、公教育だからこそ実現できる学び、それぞれの強みを生かしながら学校内外をつなぐ新たな学びのあり方を模索している。

塩見直子(一般社団法人サドベリースクールつくば空)

茨城県つくば市で、地域に根ざした小規模のオルタナティブスクールのスタッフとして子どもたちと日々過ごしています。サドベリースクールでは、子どもたちが持つ「自ら育つ力」「自ら学ぶ力」を信頼し、今日自分は何をするのか、スクールとして今後何をしたいかなども、子どもたち自身が決めてスタッフはそれを見守りサポートします。子ども一人ひとりの「やってみたい」或いは「やりたくない」という気持ちも大切にしながら、その子らしい歩みを焦らず見守るのは大人にとってなかなか難しいと実感する毎日ですが、ふと、子どもたちのたくましい成長を感じる時があり、励まされます。

【コーディネーター・司会】

砂原由和(専修大学)

情報交換会 (17:10—19:00)

専修大学神田校舎 1 号館 15 階 報恩の間 においてケータリング・サービスを利用した情報交換会を開催します。会場は見晴らしが良く、東京の夜景を楽しみながら会員のみなさまの有意義な交流の機会として、是非ともご参加・ご活用ください。

パワー・オブ・リフレクション

—教師教育と専門家養成に必要なこと

●フレット・コルトハーベン&エレン・ナイツェン著
山辺恵理子・坂田哲人 監訳/他訳 定価3,520円

コルトハーベンのリフレクションの方法をわかりやすく紹介するガイドブックがついに邦訳! 価値の高い、触発的なリフレクションとは。



多様な「学ぶ」が生まれる「学校」

—子ども一人ひとりがいきる包摂のかたち

●加瀬進 監修/入江優子・箱山智美・田嶋大樹 編著 定価2,420円

不登校支援という枠を越え、すべての子どもの多様な「学ぶ」をいかに保障するかという視点から、学校の可能性・包摂性を見つめ直す。



近代日本小学校教員検定制度史研究

—地方における試験検定・無試験検定制運用と受験の実態

●丸山剛史・井上恵美子・釜田史・白石崇人・大谷葵
亀澤朋恵・内田徹 著 定価4,730円

旧学制下の小学校教員検定制度の成立と展開を歴史的に解明。



メンターとしての経験

—若手教師支援という営みの複雑さ

●島田希 著 定価2,970円

質的データから若手教師を支えるメンターの葛藤と成長を描く。

早稲田教育ブックレット 教育最新講演会シリーズとして行われた報告と討論をもとに構成したブックレット。

●早稲田大学教育総合研究所 監修 定価各 1,100円

③② 「先生は忙しい」というけれど…それって先生の仕事?
—フランスの教員の働き方を参考に考える

③③ **AIは教育をどう変える?**—可能性と課題を学際的に追究する

③④ **不登校問題と子ども・若者の「居場所」の現在**
—不登校の子どもが生きる「社会」を拓く

〒153-0064 東京都目黒区下目黒3-6-1
<https://www.gakubunsha.com>

学文社

批判的思考指導の理論と実践 <電子版>

—アメリカにおける思考技能指導の方法と日本の総合学習への適用

●樋口直宏 著 定価7,150円 484頁

教育方法学の立場からアメリカにおける批判的思考指導論について特徴を解明。

※ご購入方法等、詳しくは右記QRコードから、もしくは弊社WEBサイト
(<https://www.gakubunsha.com/>)から検索。



人間の教育を求めて 第2版

—教育学概論 定価2,750円

●大崎素史・坂本辰朗・井手華奈子・牛田伸一
井上伸良 著

「教育」はどうかっているか、どうあるべきか。現在における教育状況に対しても、意識的に認識し、問題提起をしていく。



教育課程の探究

—理論と実践からカリキュラムを問い続ける

●木原俊行・島田希 編著 定価2,530円

教育課程とカリキュラムの理論・実践と今日的課題を体系的に探究する。



支援ニーズを抱える子どもと向き合う

教師の「判断」—エスノグラフィーでよみとく教師の専門性

●小田郁予 著 定価4,400円

教師の子ども支援実践から学校の日常を支える専門性に迫る。

実存と理性と自由 —ヤスパース教育哲学研究

●豊泉清浩 著 定価5,500円

独自の実存哲学を樹立したヤスパースにおける教育哲学の可能性を探る。

最新 よくわかる教育の基礎

●湯川次義・久保田英助・奥野武志 編著

定価2,530円

共に創り出す公教育へ (第2版)

嶺井正也・森田司郎・福山文子 編著 A5判並製 304頁 定価3190円

教育格差、子どもの貧困等、社会的に生み出された多くの課題。目前の子どもたちの背後にある課題を考慮し、子どもたちと向きあい、他の教職員や保護者、地域の人々と課題を共有し、解決に踏み出せる教員を目指す



教職概論

黒川雅子・高橋 望・田中 洋・山田知代 著 A5判並製 148頁 定価2200円

教職課程コアカリキュラムに示されている内容を網羅的に取り上げる。教職の意義、教員の役割や職務内容等を知ると、教員に求められる資質能力や、同僚教員との関係性構築の重要性に気がつくことができる



教育から見る日本の社会と歴史 (第3版)

片桐芳雄・木村 元 編著 A5判並製 256頁 定価2640円

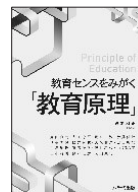
学校に代表される制度面のみならず、就学率や進学率、都市・農村間の労働力人口の移動等も含めた人口動態、国際的な視野も意識して記述され、新たな視点の日本教育史として好評。グローバル化、多文化化など追記



教育センスをみがく「教育原理」

鈴木和正 監修 A5判並製 240頁 定価2750円

教育原理の理論的枠組みを提供し、具体的な教育事例に基づく実践的なアプローチを紹介することで、読者が自らの教育スタイルや方法を確立し、「教育センス」をみがくことができるように構成される



八千代出版

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 2-2-13
URL <https://www.yachiyo-net.co.jp>

TEL 03-3262-0420
FAX 03-3237-0723

